

第 2 回

子育て支援センター全国セミナー  
2009in 山口 大会終了報告書



平成21年度

山口県子育て支援センター連絡会・山口県

# 第2回子育て支援センター全国セミナー 2009in 山口 開催報告

テーマ『子育て支援が保育を変える、地域を変える！』

～児童福祉法改正で法制化された子育て支援拠点事業を考える～

開催日：平成21年7月24日（金）・25日（土）の2日間

会場：海峡メッセ下関

主催：山口県子育て支援センター連絡会 山口県

共催：下関市

後援：厚生労働省 山口県保育協会 下関市保育連盟

## 開催御礼

この度は、『第2回子育て支援センター全国セミナー 2009IN 山口』を開催出来ましたこと、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

大会は全国から420名の方々にお集まりいただきました。子育て支援センター事業が「子育て支援拠点事業」へ新たに制度の組み替えが行われ、第2種社会福祉事業へと大きく変わろうとしてい時に相応しく、子育て支援センターの使命と役割をあらためて再確認する大会となりました。

大会開催中は大変な豪雨となり、山口県内、とくの私の地元である防府市では、多大な被害に及びました。また全国各地でも豪雨による災害が起り、皆様方にご心配をお掛けしたこと、心からお詫び申し上げます。

そんな天候の中でも大会は、大変熱心な討議、研修となりました。開会式では二井関成山口県知事をはじめ中尾下関市長様、渡邊山口県保育協会会長様、さらに田中下関市保育連盟副会長様にご臨席を賜りました。大会全体を通してのコーディネーター役を山縣文治先生にお願いしました。厚生労働省から朝川少子化対策室長に基調講演を行って頂き、集われた全国の支援センター関係者へ期待を込めたお話をして頂きました。また全国で活躍されているたくさんの方の講師にも起こしいただき、分科会やシンポジウムなど大変貴重なお話をして頂きました。

皆様に支えられての全国セミナーでした。本当にありがとうございました。大会の全体会で熊本県から山口県へとバトンが渡され、2011年には富山県がお引き受け頂くことも決定しました。今後各地で子育て支援センターが地域の親子にとってなくてはならない存在となり、この輪が全国へと広がることを確信し御礼のご挨拶といたします。

2009年

山口県子育て支援センター連絡会 会長 島田教明

## プログラムの報告

### 第1日目7月24日（金）

#### 朝のスタッフ会



#### 受付開始



開会式 10:30



**主催者を代表して**

**山口県知事**

**二井関成氏のご挨拶**

2 日前の防府市を中心とした集中豪雨による被災の中でも「子育て支援」のためならと無理して時間を割いて頂き全国の支援センター関係者に歓迎の挨拶。



**山口県子育て支援センター連絡会**

**代表幹事 島田教明氏のご挨拶**

「すべての保育園が子育て支援の拠点に」との思いでこの 10 年間、行政と共に一生懸命頑張ってきたと挨拶。



**来賓祝辞**

**下関市長 中尾友昭氏**

来賓を代表して地元下関市長が歓迎のご挨拶。先日マスコミで報道された NPO などの方の声で子育てしやすい市ベスト 10 入りした。さらに力を入れていきたいと語られました。



**来賓祝辞**

**山口県保育協会 会長 渡邊正善氏**

児童福祉法改正にともない子育て支援センターが「地域子育て拠点事業」として第 2 種社会福祉事業となり、ますます子大きな役割を担うことになった。これからも子育て支援のために頑張ってもらいたいと激励。



## 来賓各位

厚生労働省 少子化対策室長 朝川友昭様

下関市長 中尾友昭様

山口県保育協会会長 渡邊正善様

下関保育連盟副会長 田中和夫様



## 総合司会

岩国市の川西保育園 渡邊泰學氏

## 行政説明 11:00



厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課

少子化対策企画室室長 朝川知昭氏

「地域拠点事業と課題と展望」



全国から集った420名の支援センター関係者は、大きく制度が変わろうとしている国の動向を聞き漏らすまいと室長の話に耳を傾けていました。





## 昼食前のひととき 12:00

下関市観光協会

時代紙芝居の上演

ご当地の歴史絵巻。語り口調に思わず引き込まれ参加者に大変喜ばれました。



## 基調講演 13:00

大阪市立大学 教授 山縣文治氏

『児童福祉法改正による「子育て支援センター」のあり方を考える』



## 分科会 14:30

**第1分科会：「新保育所保育指針の保護者支援から子育て支援を考える」**

東京成徳大学 教授 寺田清美氏



寺田氏から新保育所保育指針の保護者支援について、指針改訂の運営委員として深く関わって来られたご経験、また現場での気豊かな経験に基づくバイタリティあふれる話し方で、納得する講義をして頂きました。



## 第2分科会：「支援される側《利用者》の視点から子育て支援を考える」

大阪市立大学 教授 山縣文治氏

分科会でも、またまた山縣ワールドにつき込まれていきました。

発表講師 子育てネットワーク研究会  
相戸晴子氏



支援センター利用者からのお話

原田ひろ子さん（防府市）

成瀬寛子さん（山陽小野田市）

西村俊恵さん（下関市）



## 第3分科会：「気になる親子の子育て支援を考える」

山口県立大学 教授 加登田恵子氏

気になる子どもや、障害を抱えた子どもへの支援の仕方を一緒に考えました。



発表① すみれ第二保育園（茨城県）

園長 石橋 豊美氏

発表② よしたけ保育園（石川県）

園長 長戸 英明氏



#### 第4分科会：「先進事例から子育て支援センターに求められるものを考える」

浜松学院大学 選任講師 高山静子氏



発表① 双葉保育園（広島県）  
園長 朝枝喜代香氏

発表② 周南市子育て交流センター  
（山口県）  
指導員 河村京子氏

#### 交流会 18：30



玖珂保育園の桂信一先生の名司会ぶりに全国から集った皆さん大盛り上がりの交流会になりました。



交流会には139人の方が参加されました。セミナー会場から徒歩5分の交流会場シーモールパレスへ。外は土砂降りの雨の中、移動して頂き感謝です！





山口県子ども家庭課 課長重政様が歓迎のご挨拶。3つの期待のお話を。



1 日目無事終了

お疲れ様でした。

## プログラムの報告

第2日目7月25日(土)

全体会：分科会報告 9:30



第1分科会 のあ保育園 田中浩二氏



第2分科会 たぶせ保育園 出井真治氏



第3分科会 小月保育園 井上氏



第4分科会 ルンビニ保育園 桑原京子氏



## 全体会：第1回全国セミナー総括と次期開催県挨拶



熊本子育てネットの事務局長 小岱先生が、第1回全国セミナーを行った経緯と今後の展望について言及。



次期引き受け開催県（予定） 富山県の柳溪先生よりご挨拶。



山口県大会の陰の立て役者、日本保育協会の國重さんが、今後の子育て支援を考えると全国組織の必要性を訴えるとともに、次期富山大会までには実現できるよう頑張っ  
て欲しいと訴えられた。

## 大会宣言

全体会の締めくくりに、この2日間の山口大会のおおとり保育園の園長 山根洋子氏が大会宣言を読み上げました。



シンポジウム 10:30

## 『地域を変える、保育を変える子育て支援』



山口県立大学 教授 加登田恵子氏

県立大学運営主体の「NPO 法人 Yucca」と「てとてと」の取り組みを紹介。



関西学院大学 講師 橋本真紀氏

保育所における子育て支援の視点と方法と題して子育て支援の国の制度の変遷から今支援センターに求められているものは何かを講義。



浜松学院大学 高山静子氏

センターへの厳しい声をあえて言っていただきました。また、ひろばとセンターの違いを強調。



子育てネットワーク研究会  
相戸晴子氏

「親はそもそも力がある」

パネルディスカッション 13:30

## 今こそ子育て支援センターの宝物を探せ



コーディネーター 山縣文治氏



またまた登場。1泊2日の大会になんと4度のお役目です。事情があるとはいえご容赦を。その責任を取って壇上の方々にお話を頂きましょう！



山東保育園 園長 村上千幸氏

地域の宝は目の前の親子。地域の資源。  
暮らしの視点、生活者としての視点が大事。  
5年後、10年後良くなったといえる支援を。



錦江保育園 園長 島田教明氏

トイライブラリー、おもちゃを仲立ちとした子育て支援。  
ボタンを掛け違わないよう、子育て支援によって保育そのものが問われている！





勝山保育園 副園長 中川浩一氏

宝はネットワーク、失われた世間を「子育て」で再生したい。



会場からも熱き思いや悩みの質問が。子育て支援拠点事業となって、子育てひろばと保育所が行う支援センターの役割をどう考えていけばよいのかなどの質問があがった。



関西学院大学 講師 橋本真紀氏

拠点事業としての土台をベースに保育所の専門性を！



子育てネットワーク研究会

相戸晴子氏

保育所の相談機能はセンターの宝。

記念講演 元マラソンランナー松野明美さん

14:30

『人生が一番でなくてもいい～生まれてきてくれありがとう～』



松野明美さんお話は、笑いあり、涙あり、会場の皆様の心に響き渡りました。松野さん、来てくれてありがとう。(参加者の声は別掲)



閉会式 16:00

2日間の大会お疲れ様でした。富山大会でまたお会いしましょう。!

## 山口宣言

### 真の子育て支援が求められている。

～未来を育てるために手をつなごう～

今年、15年目を迎える子育て支援センター事業は、大きな転換期に直面している。法制化（第2種社会福祉事業）や新保育指針に保護者支援が盛り込まれたことは、支援センターそのものの存在意義を再確認する必要にせまられた。

しかしながら、この15年間の私たちの歩みは、着実に地域の中に根を張り、この国の未来を担う子どもたちの育ち、そして若いママやパパの世代に具体的なサポートとして夢と情熱をかけて実践してきたものである。

私たちの基盤にあるものは、一人ひとりを抱きあげられる心豊かな「保育」であり、何よりも子どもたちの「生活」に寄り添ってきたという自負と、その経験をもとに子育ての支援に携わってきたことにほかならない。

支援センターの在り方が問われるこの時期、熊本に次いで2回目の子育て支援センター全国セミナーが維新の地「山口」で開催できた意義は大きい。

今こそ、互いに手をつなぎ、子どもや保護者の自立につながる真の子育て支援を目指していくことが必要と考える。

こうしたことから、私たちは、全国組織としての「子育て支援センター全国協議会」（仮称）を立ち上げ、安心して産み育てることのできる社会、生まれてきてよかったと思える人づくりに資することをここに宣言する。

平成21年7月

子育て支援センター全国セミナー2009 in 山口



松野さんのお話を聞く間、3階の託児会場での様子



# 「松野明美さんの講演を聴いて」・アンケートより

- ・諦めて10年過ごすより頑張る10年過ごす方がいい、前向きな言葉が心に響きました、他の子と比べて焦るのはやめにしようと思った。愛を沢山注ぎたいと思った。
- ・今日のお話しが聞けてよかったです。子どもに対して生まれてきてくれたことにもっと感謝したいと思いました。
- ・大変良かったと思いました。
- ・感動的な話に出会えて気持ちよく帰宅できます。障害のある子育て大変だと思いますが、ご健康に気をつけられ、お子さまを少しでも長く見守ってあげられることを祈っています。
- ・講演の最後に幸せは他人が決めることではない、本人が決めることだという言葉はすごく心に残りました。話を聞くことができるとても嬉しかったです。
- ・とても良かったです。ありがとうございました。
- ・松野さんのお話しが聞けて良かったです。死産、流産をして元気な子供に会えなかった私ですが、長男を大切に育てていきたいと思います。松野さんもこれからも元気で明るく子育てしてください。
- ・子育てを楽しんでみようと思いました。
- ・笑いの中で講演を聞き始めた、子育てが終わり孫の成長を楽しみにしているおばあちゃんです。しかし話が展開される中自分のお育てが一生懸命だった頃を重ね合わせたり障害の子供さんを胸を張って育てておられる姿に後半部は涙が止まりませんでした。みんなで一緒に子供を育てる昔の昔の姿、今一度見直し私自身も参加していきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・私も障害を持った子(3才)の母です。最近特に他の子と比較してしまい、しつこく厳しくしたり、できないことにはばかり目が向いてガミガミしたり、主人にあたる毎日だったので“子供は宝”と思い、また楽しく本人が楽しく過ごせるように、そして希望を持ってくらしたいと思います。ありがとうございました。
- ・楽しいお話しがありがとうございました。
- ・とても良いお話を聞くことができました。私は現在3歳の子を持つ母です。健康に育ってくれていますが、ちょっとしたことでイライラしたり悩んでしまうことがあります。松野さんはきっと私よりたくさん苦労されているのにあんなに笑顔で入れて本当に強いなとおもいました。私も松野さんのような母になれたらと思いました。
- ・松野さんのお話は地域と共に暮らしていく、生きていくという今の社会に必要な部分を訴えていたのが良かった。もうすぐ5歳になる子供について今一度向かい合ういい機会になりました。とてもいいお話でした、ありがとうございました。
- ・私も3ヶ月早く早産で未熟児を産みました。少しかもしれませんが、松野さんのお話で共感できました。子供も同級生になります。これからも頑張ってください。私も育児に頑張ります。
- ・保育士をしていて今、障害のある子の担任をしています。障害の子がクラスにいることで子供同士本当に心身共に成長をしていると感じていたので今回の松野さんのお話を聞いて改めて一緒に成長していくことの大切さを考えさせられました。素晴らしいお話ありがとうございました。
- ・たくさんのちからいっぱいのお話しが聞けて本当に良かったです。これからもみんなで力を合わせて頑張っていきましょう!!私は保育士をしています。毎日子どもたちの表情にたすけられたり励まされたりしています。松野さんの正直な言葉など心を打たれました。これからもいろんな事を伝えていって下さいね!!ありがとうございました。
- ・子どもは宝 改めて実感。普段の生活で笑顔で過ごそうと思った。みんなが幸せだといい。地域協力で賛成、納得しました。ありがとうございました。
- ・松野明美さんの気持ちの強さに感動いたしました。また病気をもっている子供さんがいれば隠したいものです、勇気をもってこれからも頑張っていっていただきたいと思っています。
- ・素敵なお話をありがとうございました。松野さんのお話を聞いて元気が出ました。
- ・涙があふれてたまりませんでした。自閉症の息子ともっと関わって笑顔で生きていきたいと思いました。幸せって自分の中にある、自分が作ることができると思います。松野さんとてもかわいくて素敵なお方ですね、ありがとうございました。
- ・話を聞き本当に感動しました。障害があってもその子が幸せな生活を送れることが大切だとつくづく感じました。

他の人と比べないということは障害がある人にとって大事な事だと感じました。

- ・とても感動的なお話でした。私の娘もダウン症です。地域で育てていけるように頑張りたいと思います。
- ・本当にわかりやすく素晴らしいお話しありがとうございました。・松野さんのテレビを観てとても感動したので今日の講演をととても楽しみにしていました。思った以上の松野さんの楽しい尾半紙に笑い、つつみかくさずの子育てのお話しにととても感動しました。今まで一番を目標に突っ走ってきた松野さんにとってけんたろう君の存在は松野さんの自身を変えてくれご家族を一つにしてくれた大切な存在なのですね、これからもけんたろう君の成長を楽しみにしています。子育ての仕事に携わっているので今日のお話しをお聞きしひとり一人の個性を尊重しながら明日からまた頑張っていきます。
- ・楽しく、あっという間の講演会でした。マラソン界の厳しさ、自分にない貴重な経験を聞かせて頂き涙が出ました。もっともっとけんたろうくんのことをメディアで知らせてほしいです。
- ・子育て真っ最中の私にとってはとても良いお話でした。自分に置き換えて話を聞けてとても勉強になりました。子どもは宝ですね。
- ・めっちゃイケの松野さんの歌声を聞いて、前からおもしろい人だなと思っていましたがかなりファンになったところ今回の講演を知り子どもを保育園に預けて参加させて頂きました。子どもと日々暮らす中で本当の自分を成長させてくれる大きな大きな存在です。私も子育て頑張ります。またどこかでお会いできることを楽しみにしています。貴重なお話しありがとうございました。
- ・1時間半があっという間の楽しい講演でした。一児（3才）の母で叱ってばかりの自分を反省する毎日です。生まれてきてくれた時、それだけで本当に感謝できた気持ちを再確認できました。ありがとうございました。
- ・よいお話しを聞かせていただきました。5才の息子と5ヶ月の娘の育児の励みになりました。
- ・今子育て中の私にとってもためになるお話でした。笑いあり、涙ありとても感動しました。来て良かったです。
- ・とても良い時間が過ごせあっというまでした。親としてあらたな気持ちで頑張っていけそうです。
- ・とても感動して同じ意見もたくさんありました。私も去年から母親ですがこれからも頑張ろうと思いました。
- ・こんなに心が熱くなった講演は初めてでした。教えられるのではなく共に頑張ろうという思いが心地よかったです！
- ・とても楽しく明るく話でした。テレビでみる通りの方で早口で聞きづらい部分もあったけれど共感できる部分もあり、とても参考になりました。著者の本があれば読んでみたいと思いました。
- ・素晴らしかったです。
- ・松野さん大変だったのに明るく振る舞って今からももっと大変なのに頑張って下さい。
- ・大変良い話を聞きました。願っていること感じました。
- ・今日はありのままの松野さんのお話を聞いて良かったです。ありがとうございました。
- ・すごく良かったです。これからも頑張ってほしいです。
- ・私は3人の子の母です。松野さんに会えてたくさんの勇気をもらいました。これからも頑張っていけそうです。ありがとうございました。
- ・どんな事でも心の持ち方で幸せに生きていける。子どもをしっかり受けとめようと、大切にしないでとは、お聞きして感じます。親になれて良かった、一緒に頑張ろうと思いました。どの子も大切ぬしなくてはと思います。ありがとうございました。
- ・今日は友だちからお誘いを受け講演会に参加したのですが、来て良かったです。心暖まるお話しが聞けて良かったです。人生は一番じゃなくてもいい、松野さんのマラソンが一番じゃなければいけないと思って一生懸命に頑張ってきた中で健太郎君が生まれてきて一番じゃなくても最後まで頑張ってやりとげればいいんじゃないかと思います。幸せは他人が決めるものではない、自分で決めるものだといろいろと考えさせられました。感動しました。ありがとうございました。
- ・ダウン症の次男を出産してからの心の葛藤や苦しみ、家族の絆を深く感じました。一生隠し通そうと思った気持ちすごくよくわかります。産まなければ良かったと本気で思った江というのも本当にリアルな本人にしかわからない心の本音だと思いました。でも、次男の方の成長を通じて松野さんの気持ちが大きく変化して本当に子供さんたちを慈しんで折られること、子育てを楽しんで折られることがよくわかりました。私も二児の母ですが、健康に産まれて来てくれたことに改めて感謝の気持ちでいっぱいです。本日は貴重なお話しを聞くことができとても勉強になりました。ありがとうございました。